

# 認知症声かけ訓練とは

板橋区熊野おとしより相談センター

板橋区中丸町27-11中丸いこの家内

TEL03-5926-6566

FAX03-3973-3531

<http://kumano.foryou.or.jp>

「熊野地域包括支援センターで検索」



## 認知症声かけ訓練とは♪

もともと認知症の人やその家族を地域で支えるため、地域住民のネットワークを再生・構築しようという動きから、「認知症SOSネットワーク」や「徘徊模擬訓練」という名称で全国各地での取り組みが進められてきました。認知症SOSネットワークとは、行政機関や地域の生活関連企業と住民とでつくる搜索連絡網を指し、「徘徊模擬訓練」は、地域で認知症役の人に実際に声をかける訓練を行うことを指しています。

この「徘徊模擬訓練」も様々な方法があり、事前に服装などの情報を訓練参加者が確認して、認知症役の人が地域を歩いているところを探す方法や、地域に訓練ポイントを設置して様々なシチュエーションの認知症役の人を配置して、声をかける方法などが実施されています。また、近年は「徘徊」は、意味なくさまよっているという好ましくないイメージがあることから、「徘徊」という言葉を使用しないようになってきています。

このような流れから、板橋区では地域に訓練ポイントを設置する方法を「認知症声かけ訓練」として取り組みを進めています。



## 実施のポイント♪

### 熊野では

- (1) 訓練を実施する地域の住民や認知症サポーター、介護事業者、おとしより相談センター等が訓練を通して連携し、日頃の連携ができる関係づくりを目指す。
- (2) 地域で開催することで、直接訓練に参加しない地域住民に対しても認知症についての関心をもってもらえる機会とする。
- (3) 1回だけの訓練で終わらず、地域の住民や認知症サポーター、介護事業者等が、継続的に訓練に関わり、おとしより相談センターと協力し、地域づくりを目指す。

## 目的♪

- (1) 認知症の人と家族を支え、見守る地域の意識を高め、認知症の理解を促進していく。
- (2) 地域で声かけや見守りができる地域連携の強化
- (3) 認知症サポーターが地域での活動の1つとして参加できる
- (4) 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指していく

# 声かけ訓練の実際

## 内会場(集合・講義)

☆医師のお話。

☆認知症声かけ訓練についての説明

・接し方について学習、認知症サポーター養成講座の復習など)

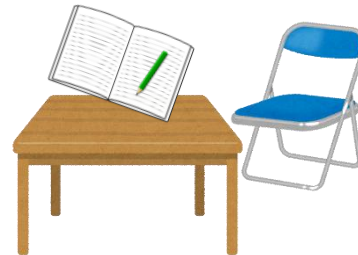


## 外会場(外出)

☆グループごとに訓練出発

① 訓練ポイントが集中しないように、予め決めた順番をまわる。

ポイントは3箇所くらい



医師によるコミュニケーションの話。  
みんな真剣に聞いています。

包括担当者から訓練の仕方  
についても説明を受けます。



グループごとに順番に。  
車や自転車、通行人に注意して。

② 訓練ポイントでは 訓練ポイントでは 認知症役の人、説明整理がスタンバイしています

子供だといって  
背負っているようです。



こんにちは。何か  
お困りですか。



③ 訓練が終わったら 訓練が1か所ずつ、皆で「声かけチェックシート」を使用して 振り返をしていきます。



上手に声かけできていたね。

- 後ろから声をかけない。
- 余裕をもって対応する。

④ 会場に戻って、グループワーク 会場に戻って、話合います。



あの人には、どのように声を かければ  
良かったしら・・・

地域での認知症の人の見守りに必要  
なことはなんだろう

## ⑤ 警察署からの講話

- ・実際に保護した場合の110番通報仕方や、守って欲しいことなどを伺ます



110番した時は・・・  
その場勝手にカバンは開けないで。  
からいなくならないで。・・・

～アンケートから♪～

- ・今まで迷って結局声かけができなかったのですが、今日の訓練で他の人への対応や、自分が声をかけるなど数回体験でき、少し自信がついた。
- ・商店街、地域で声かけ訓練を行うことで、参加者だけでなく、周りにいる人たちにも声かけの重要性を伝えることができるのでとても有意義であったと思う。
- ・沢山の方(介護職やそれに近い方にかかわらず)声かけを訓練することで、認知症の方の安全が守れ、また、認知症でない方であっても声かけでコミュニケーションがとれ、町全体が良くなると思います。
- ・とても良い経験が出来た思います。でも1人で声かけできるかは不安です。
- ・相手の気持ちになって対応するという視点を学ばせ頂きました。も事例を学びたいです。

▲地域で認知症の人を見守るためづくり1つツールとして実施を。

▲訓練を通して、地域の様々な人がつながり、自分の地域について考えるきっかけに。

▲認知症サポーターの地域で活動の場を。



注) 板橋区「認知症声かけ訓練手引き書」より抜粋  
熊野おとしより相談センター版を作成しております。